

平成28年度

都市計画道路高知南国線建設に伴う埋蔵文化財発掘調査

わかみやのひがし

若宮ノ東遺跡

現地説明会資料

1 調査の概要

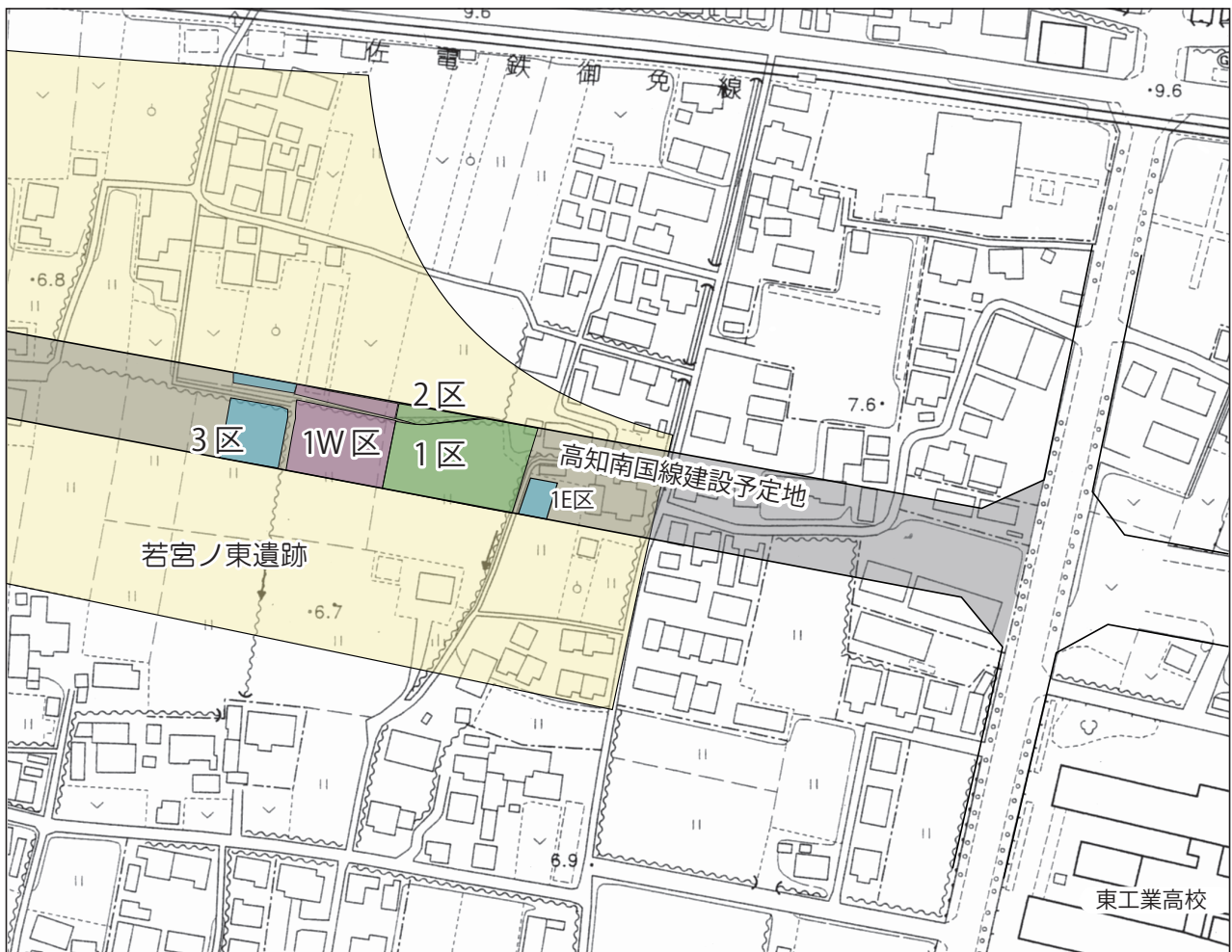
今回の発掘調査は、高知県が計画している都市計画道路高知南国線建設工事区域内の南国市篠原に所在する若宮ノ東遺跡について、工事の影響を受ける部分を事前に発掘調査を行い、遺跡の内容を記録保存し、後世に伝えると共に地域の歴史解明に役立てようとするものです。約2,600㎡を対象に平成28年8月15日～平成29年2月10日まで発掘調査を行う予定です。調査は高知県より委託を受け高知県文化財団埋蔵文化財センターが行っています。

2 若宮ノ東遺跡について

若宮ノ東遺跡は以前から遺跡として知られていたものの、本格的な発掘調査は今回が初めてとなります。長岡台地の縁辺部に所在し、県内でも特に遺跡が多くみられる地域であり、周辺では発掘調査も多く行われています。若宮ノ東遺跡の北には小籠遺跡や祈年遺跡など弥生時代後期後半から古墳時代初頭にかけての竪穴式住居跡が多数検出された大規模集落も広がっています。



周辺の遺跡地図



調査区位置図

3 調査成果

(1) 遺構

- ・ 弥生時代後期末～古墳時代初頭の竪穴式住居跡を合計22棟、掘立柱建物跡2棟を確認した。
- ・ 弥生時代後期末～古墳時代初頭の井戸跡と考えられる土坑を確認した。(1区)
- ・ 弥生時代後期末または古墳時代末とみられる大型の柱穴列を確認した。(1区)
- ・ 古代の可能性が高い、大型柱穴を持つ3間×4間の総柱建物跡を確認した。(1W区)
- ・ 近世の大型土坑や近現代の遺構を多数確認した。

(2) 遺物

出土遺物 コンテナケース約220箱

弥生時代 弥生土器(壺・甕・鉢・高杯・手づくね土器など)、鉄製品(鉄鏃)、石製品(石包丁)、土製品(紡錘車)、

古墳時代 土師器(壺・甕)

古代 須恵器(杯・蓋・甕など)、土師器(杯・皿)、緑釉陶器など

中世 土師質土器(小皿など)、青磁(碗・皿)、瓦質土器(釜)、土製品(土錘)など

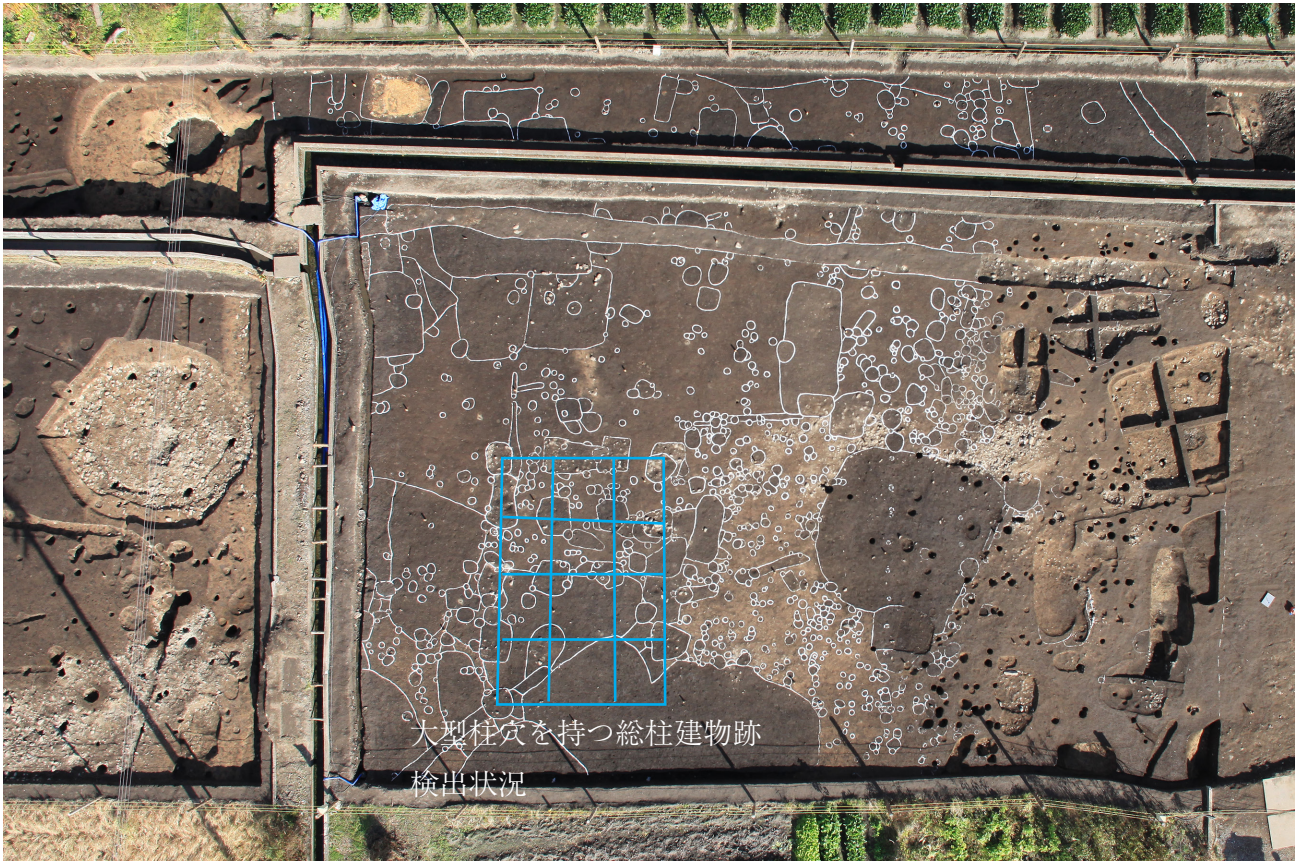
近世 陶器(碗・皿・甕・播鉢など)、磁器(碗・皿)、金属製品(銭貨・煙管)、石製品(石臼)など



1区遺構完掘状況



3区遺構完掘状況



1W区遺構完掘状況



I W区土師器出土状況



I W区弥生土器甕出土状況



1W区大型柱穴を持つ総柱建物跡



1W区総柱建物跡の大型柱穴掘削作業風景